

第39回埼玉県名刀展

新刀名作展



絵馬「鳥居清安筆の小鍛治」(蕨市 高窪家正一位稲荷
蕨市立歴史民俗資料館写真提供)

会 場：狭山市立博物館企画展示室

期 間：平成7年5月21日(日)～6月4日(日)

休 館 日：5月22日(月)・26日(金)・29日(月)

展示解説：5月21日(日)・28日(日)、6月4日(日)

主 催：埼玉県教育委員会、狭山市立博物館、埼玉県刀剣保存協議会

開催にあたって

日本刀は、元来武器として作られたものですが、それは同時に日本の高い伝統的技術、職人の“わざ”を伝える芸術的作品であり、宝物として、また美術品として長い間人々の心をとらえ、大切に保存されてきました。

今回の展示では、新刀と呼ばれる慶長期から文化文政期の、いわゆる江戸時代前・中期の刀剣類及び刀を飾る鐔、小柄などの小道具類を県内の所蔵者各位から出品していただきました。

武家社会の進展とともに完成されてきた日本刀の、研ぎすまされた美と、精巧な小道具の優美さを御堪能いただき、併せて美術品、文化財としての日本刀に対する御理解を深めていただければ幸いです。

終わりに、この展示を開催するにあたり、格別の御協力をいただきました関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成7年5月

埼玉県教育委員会

狭山市立博物館

埼玉県刀剣保存協議会

新刀名作展について

日本刀は、慶長期（1596～1614）を境として以前を古刀、以後のものを新刀と呼称して区別しています。

新刀は、これまでの刀剣製作王国の備前、美濃などにとって代り、京、大坂、江戸などの大都市や大名の城下町に鍛冶が集中しており、刀工分布が大きく変貌しています。

この期の「慶長新刀」は豪壯なものを好む時代の趣味をよく伝え、鎌倉時代とならぶ刀剣史上の黄金期を創出しています。姿形は、脇指とも身幅広く、重ね厚く、反り浅く、鋒延びるのが普通であります。

世の中が一応安定した寛文・延宝頃になると、刀は華美なものとなり、続いてようやく発達した剣法の影響から、いわゆる「寛文新刀」の完成をみたといえます。この期の刀姿は、反りが浅く、元幅より先幅がぐっと狭くなり、鋒はつまりごころとなっています。

幕末時代の刀の姿は、桃山期と同じですが、やや殺伐とした風潮を反映して、刀は寸が伸び、重ねは厚く、如何にも武用の感があります。

後期ともなると、国学の復興に伴って、政治的にも文化面でも復古思想が勃興し、日本刀はすべからく、鎌倉・南北朝の古えに復活しようとする「復古刀」の理念が活発となり、その動きによって作られた刀を「新々刀」と称します。

この度の展示では、これらの新刀27振、鐔、小柄など刀装具の名品32点程、合わせて陳列いたします。

（武藏野刀剣会）

刀剣類

種別・銘文	長さ	時代	国別
1 脇指 丹波守吉道 美濃国閥の刀工兼道の3男で、父とともに上京、西洞院夷川に住し、文禄年中に丹波守を受領した初代丹波守吉道の優作。九鬼家伝来。武蔵野刀剣会出品。	1尺3寸(39.4cm)	慶長頃	山城
2 脇指 和泉守藤原国貞 「大坂新刀」の祖とされた初代国貞の作。日向國飫肥の出身で京堀川国広門下国儀に作刀を学んだといわれ、その後大坂に下って一派を成した。埼玉県重宝刀剣。秩父刀剣会出品。	1尺7寸1分(51.8cm)	慶安頃	摂津
3 脇指 井上和泉守国貞 (菊紋) 寛文十年二月	1尺8寸(54.5cm)	寛文10年	摂津
4 刀 井上和泉守国貞 (菊紋) 寛文十一年八月日	2尺4寸7分(74.8cm)	寛文11年	摂津
5 脇指 井上和泉守国貞 (菊紋) 寛文十一年八月日	1尺8寸(54.5cm)	寛文11年	摂津
6 刀 井上眞改 (菊紋) 延宝三年八月日 初代国貞の次男で、万治4年和泉守を受領し、翌5年頃作刀を朝廷に献じて菊花紋を賜り、井上和泉守国貞と銘した。「大坂正宗」の称がある大坂の代表的名工で、津田助広と双璧をなす。後井上眞改と改名。3~6とも重要刀剣。3は西武蔵刀剣会、4・5は武州刀剣会、6は武蔵野刀剣会出品。	2尺3寸5分(71.2cm)	延宝3年	摂津
7 刀 近江守高木住助直 寛永16年近江国高木に生まれ、津田越前守助広の門に学び、後その妹婿になったと伝えられている。重要刀剣。武蔵野刀剣会出品。	2尺3寸5分(71.2cm)	延宝頃	摂津
8 脇指 粟田口近江守忠綱 天和三年二月吉日彫同作 播州姫路から大坂に出て一派をなした初代浅井近江守忠綱の子で、2代目を継いだ。一竿子と号し、津田助広風の濤瀾乱を焼き、彫物の名人でもあった。武蔵野刀剣会出品。	1尺7寸(51.5cm)	天和3年	摂津
9 刀 筒井越中守輝邦入道紀充 享保八年二月吉日 大坂に住した越中守包国の子で大坂、河内、大和郡山と居住地を変えている。作刀は元禄から元文年間に及ぶ。埼玉県重宝刀剣。鴻巣刀剣会出品	2尺3寸6分(71.5cm)	享保8年	大和
10 刀 以南蛮鉄於駿州越前康継 初代康継の駿州打ちの刀である。駿州打ちとは、大御所家康が駿府城に居た折り、この地において作刀した刀である。重要刀剣。武州刀剣会出品。	2尺6寸8分(81.2cm)	慶長頃	武蔵
11 脇指 長曾祢興里入道庸徹 長曾祢興里（法名庸徹）は、元来越前福井の甲冑師であったが、50才前後に江戸に出て作刀に専念し、ついに新刀界の第一人者となった。熊谷刀剣会出品。	1尺5寸1分(45.8cm)	寛文頃	武蔵
12 刀 上総介藤原兼重 上総介兼重は、江戸に住した和泉守兼重の子、又は門人といわれる刀工で、寛文から天和3年までの年紀のものが残されている。川越初雁刀剣会出品。	2尺2寸5分(68.2cm)	寛文頃	武蔵

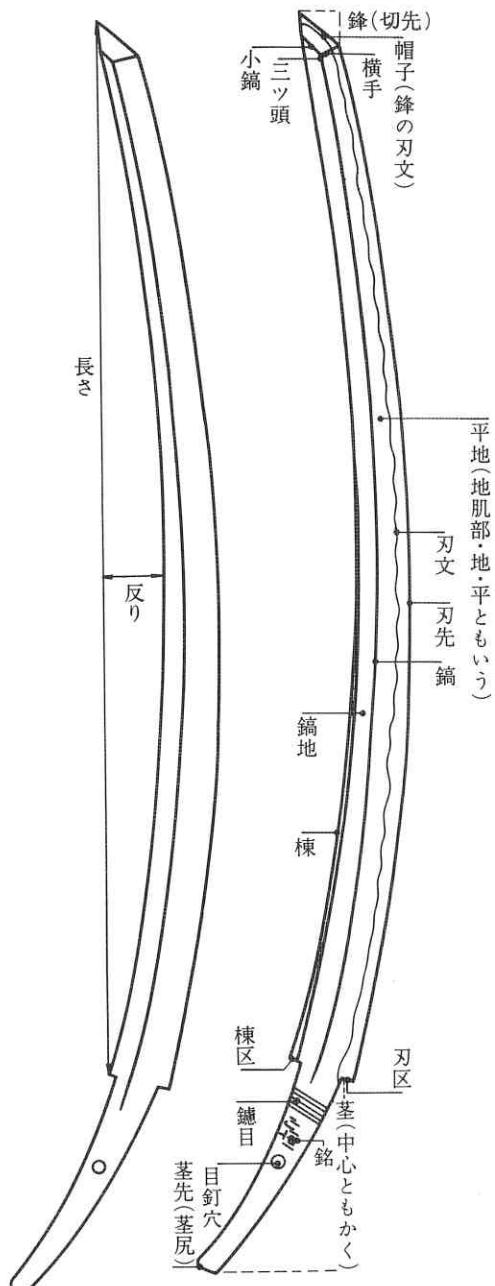
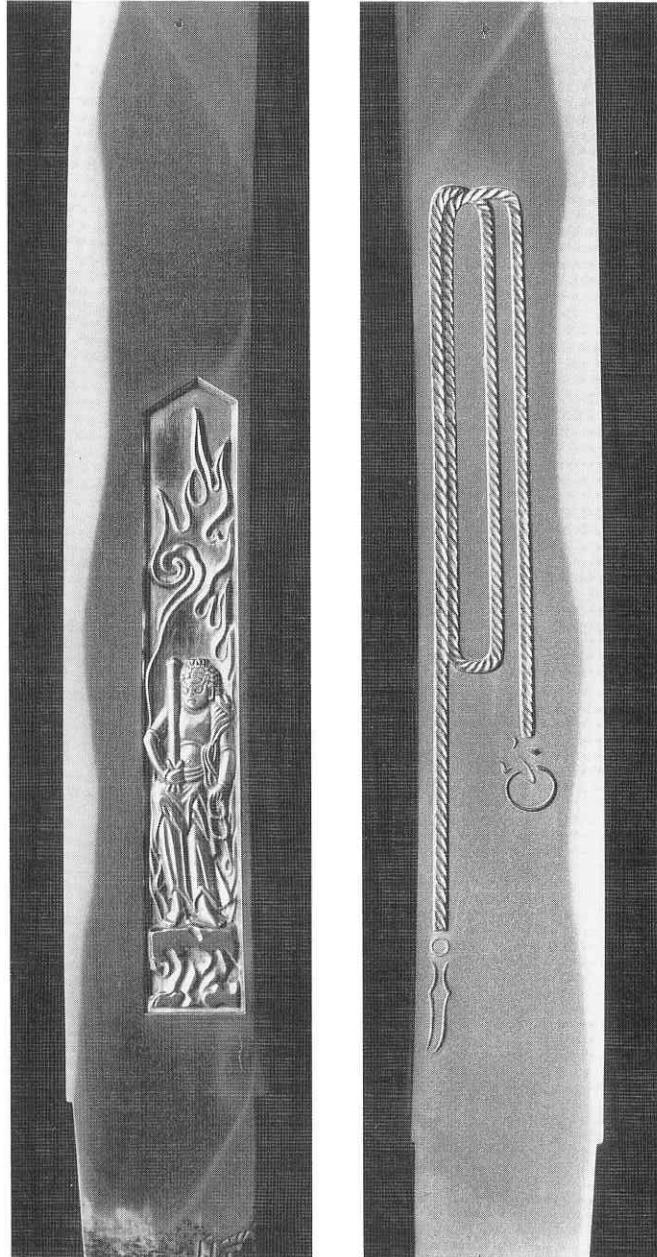
- 13 脇指 近江守法城寺橘正弘 1尺8寸5厘(54.7cm) 明暦～宝永頃 武藏
本国は但馬という江戸法城寺派は、正弘を頭領として数工が存在して、優品を遺している。
川越初雁刀剣会出品。
- 14 刀 越前守法城寺橘正照 2尺1寸1分(63.9cm) 延宝～天和頃 武藏
加納彦大夫菅原玄和嗜寶
正照は法城寺派初代正弘の門に学び、越前守を受領し、後に羽後秋田に住したと伝えられている。
同門中の上手で、直刀の作に優れたものがある。重要刀剣。武藏野刀剣会出品。
- 15 脇指 大和守安定 1尺8寸(54.5cm) 寛文元年 武藏
(金象嵌) 貳ツ胴裁断山野加右衛門永久 (花押)
寛文元年八月九日
安定は飛田宗兵衛といい紀州石堂出身。一般に二代康継門と伝えているが、その作風、造込、
茎仕立等よりして和泉守兼重に師事したものと思われる。重要刀剣。武藏野刀剣会出品。
- 16 脇指 相模守政常入道 1尺1寸5分(34.8cm) 慶長頃 尾張
天正19年相模守を受領し、慶長5年松平忠吉に従って清洲に移っている。慶長12年隠居したが、
二代が急逝したため再鍛刀し、以後入道銘を用いる。重要刀剣。武藏野刀剣会出品。
- 17 脇指 南紀重国造之 1尺4分(31.5cm) 慶長～元和頃 紀伊
もと大和国手搔派の刀工であったが、慶長年間駿府に移り家康に仕えた。元和元年家康の子頼
宣の紀州和歌山転封に従い、和歌山に移る。特別重要刀剣。西武藏刀剣会出品。
- 18 刀 越前国住兼植 2尺4寸8分(75.2cm) 慶長頃 越前
兼植は、美濃関の系統で越前に移住した鍛冶の一人。表裏に施された彫物も巧みな越前彫で、
記内知相の手になったものである。重要刀剣。武藏野刀剣会出品。
- 19 刀 備中国砦部住河野理兵衛尉為家 2尺6分(62.4cm) 寛永頃 備中
相州伝を得意とした為家の作品。埼玉県重宝刀剣。秩父刀剣会出品。
- 20 刀 加州住兼若辻村又助 2尺2寸9分(69.4cm) 寛文4年 加賀
生年五十三歳造之
寛文四年八月吉日
- 21 刀 加州住兼若 2尺5分(62.1cm) 明暦頃 加賀
加州住兼若は、初代兼若の三男で又助と称し、年少にして兼若を名乗った。加賀百万石前田藩
では、昔から「兼若を指している男ならば、身分を問わず娘を嫁に出す」などといわれていた。
20は埼玉県優秀重宝刀剣。熊谷刀剣会出品。21は埼玉県重宝刀剣。鴻巣刀剣会出品。
- 22 脇指 肥前国住人忠吉作 1尺3寸1分(40.9cm) 慶長頃 肥前
肥前國剣物藤原宗長
忠吉は肥前鍋島藩の抱え工で、慶長元年藩命により一門の宗長とともに、京の埋忠明寿の門に
入り、忠吉は鍛刀、宗長は彫技を学んだ。重要刀剣。武藏野刀剣会出品。
- 23 脇指 肥前国住藤原忠広 1尺5寸5分(47.0cm) 寛永10年 肥前
寛永十年八月吉日
- 24 刀 近江大掾藤原忠広 2尺3寸(70.0cm) 正保頃 肥前
初代忠吉の嫡子で、本家二代目を継いだ近江大掾忠広の作。23は重要刀剣。本庄刀剣会出品。
24は深谷刀剣会出品。
- 25 脇指 河内大掾藤原正広 1尺4寸(42.4cm) 寛永頃 肥前
忠吉の一門で肥前吉信の子といい、後に河内大掾を受領。肥前の刀工中、最も技量が優れてお
り、初代忠吉没後は二代忠広を助け、良き協力者として大いに活躍した。深谷刀剣会出品。

26 刀 出羽国住人大慶庄司直胤（花押） 2尺3寸5分(71.2cm) 文政元年 武藏
文政元年七月日

直胤は出羽山形の人、本名を庄司笑兵衛といい大慶と号した。水心子正秀門の逸材で、師と同じく秋元家に仕えた。本庄刀剣会出品。

27 短刀 筑前守信秀 9寸7分(29.4cm) 慶応2年 武藏
慶応二年三月日

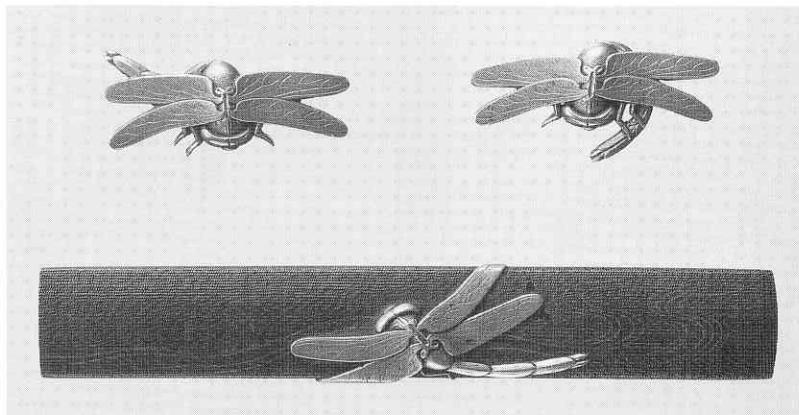
信秀は生国越後国三条で、栗原謙司と称し、元来鏡工で後に幕末の名工「源清磨」の門に学び、慶応元年筑前守を受領。川越初雁刀剣会出品。



各部の名称

小道具

種別	図柄	銘文	種別	図柄	銘文
〔鴻巣刀剣会出品〕					
鐔	熊谷次郎直実図	浜野直隨（花押）	鐔	猛虎図	荒川一喜（花押）
鐔	松に舞鶴図	寿岳軒政永	鐔	群馬図	延寿齊寛利
鐔	波千鳥図	一蓼一長作	鐔	枯木に鳩透図	江戸住奈良重治
鐔	月下梅竹図	竹芝寿輝（花押）	鐔	宝来図	龍青珉
鐔	桜図透大小鐔	砂川正吉（花押）	鐔	群馬図	政隨
鐔	檀溪図	葛龍軒政盧行年七十二才			
〔武藏野刀剣会出品〕					
小柄	牡丹獅子図	宗珉（花押）	二所	蜻蛉図	小柄：如竹（花押）
縁頭	猛虎図	如竹（花押）			目貫：如竹（花押）
縁頭	宇治川先陣図	大森英秀（花押）	縁頭	神功皇后図	大森英秀（花押）
小柄	碁盤曳き図	政隨	縁頭	石垣二蟹図	政隨
小柄	唐子布袋図	望窓軒浜野（印銘） 短隨（印銘）	小柄	東方朔図	越前大掾長常（花押）
二所	甲子図	小柄：文久甲子初春上元 素璞夏雄（花押）	小柄	蘇東坡図	慥々斎題月光興龍齊（花押）
〔重要刀装具〕					
〔本庄刀剣会出品〕					
小柄	足柄山図	於東武桜川辺後藤一乗（花押）	小柄	秋野原図	後藤一乗（花押）
小柄	梅花図	後藤一乗（花押）	小柄	野菊図	時年七十五法眼一乗（花押）
笄	猿公蜂図	天保四巳年孟春作	小柄	梅樹図	東吟亭義照（花押）
		後藤法橋一乗（花押）	小柄	雪華文図	日月祥（花押）
小柄	能舞図	安政二乙卯孟春初彫船田一琴（花押）	小柄	白藏主図	享齊武刀
小柄	牧童に牛図	応需藤原政龍（花押）			



二所（小柄、目貫） 蜻蛉図